

# 鹿児島県柔道会だより

■発行人：北 哲郎 ■編集：総務部編集委員会 ■発行：公益財団法人鹿児島県柔道会(099-222-7770)

年 頭 所 感  
会 長 北 哲 郎



平成29年の新年を迎え、心より新春のお慶びを申し上げます。

昨年は「教育柔道」を原点に「武の国薩摩」復活を目指した「競技力向上」の二点を重点課題として、取り組んで参りましたが、役員をはじめ関係者の皆様方のご協力の下、幾多の成果を収め、新年を迎えることができました。感謝申し上げます。

全柔連では、今年から国体の要項の改正、国際柔道連盟のルール改正、重大事故防止、柔道人口減少等難題山積しております。

本県では、3年後に迫った2020年「燃ゆる感動 かがしま国体」開催に向け、国体の成功を期すべく、ジュニアから一般まで年間を通じた計画的強化訓練を「オール鹿児島」で推進していく所存です。

年始早々の1月14日県柔道選手権・女子柔道選手権、1月15日は県高校柔道選手権大会が控えております。また、九州全国規模の大会が、今年はマルちゃん杯九州少年柔道大会、来年は九州中学校総合体育大会と九州ブロック大会、2019年には全国高校総体と軒並みに大きなイベントが計画されております。

今年も役員をはじめ関係者の皆様方のご指導・ご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年も皆様にとってよい年になりますようお願い申し上げます。

## 「燃ゆる感動 かがしま国体」 に向けての取り組み

3年後に迫った2020年「燃ゆる感動 かがしま国体」の成功に向けた、県柔道会のおもな取り組みを紹介します。

(1)「柔道競技サポート会」の立ち上げ  
競技力向上対策をはじめとする、諸施策を  
実行していくための「財攻基盤の確立」を  
目指すことを目的としています。

### 【会員(敬称略)】

|     |        |             |
|-----|--------|-------------|
| 会 長 | 赤崎義則   | 前鹿児島市長      |
| 副会長 | 入船次興   | 県柔道会顧問      |
| ”   | 柏木茂穂   | 県柔道会監事      |
| ”   | 佐藤充郎   | 南州タクシー社長    |
| ”   | 鳥井ケ原孝夫 | ヨコハマタイヤ社長   |
| ”   | 森山清隆   | 森山タイル会長     |
| ”   | 米盛 學   | 社会福祉法人緑泉会会長 |
|     | 北菌幸二   | (株)キタゾノ社長   |
|     | 田中美優喜  | 行政書士        |
|     | 比嘉吉憲   | 前沖縄県会長      |
|     | 松下三郎   | 講道館参与       |
|     | 山崎 洋   | 山崎商会社長      |
|     | 山下純一   | 鹿児島トホット社長   |

(2) 優秀指導者を招聘しての講習会の実施  
県外から優秀な指導者を招聘して、選手強化を図る目的で、県内柔道指導者・強化委員および一般・高校生・中学生を対象に実施します。1回目は、平成28年9月22日(祝・木)に全柔連強化副委員長で、了徳寺大学柔道部監督の山田利彦先生に、2回目は、平成29年1月20日(日)に全柔連強化委員委員で、日本体育大学体育学部武道学科教授で柔道部部長の山本洋祐先生にそれぞれ指導していただきました。

### (3) 強化のための組織

選手強化を目的とした、新たな組織作りを

行いました。

【委員(敬称略)】

|            |               |
|------------|---------------|
| 専務理事兼強化委員長 | 北  菌  季  康    |
| 強化副委員長     | 田  中  総  一    |
| 男 子 強化部長   | 福  元  雅  一    |
| 強化副部长      | 田  原  幸  一    |
| 女 子 強化部長   | 吉  村  智  之    |
| 強化副部长      | 鮫  島  将  太  朗 |
| 中学校 強化部長   | 古  賀  雅  弘    |
| 強化副部长      | 西  有  生  央    |

(4) 強化練習会・合宿の実施

強化のために土日を使って、強化練習や合宿を実施しています。

- ① 強化指定選手による合宿
- ② 中高一般による強化練習
- ③ 小学5・6年生を含めた中高一貫強化練習

(5) 県選手権おける小中学生の紅白試合

かごしま国体時に少年男女の主力選手に当たる現小学6年から中学2年の強化指定選手を中心に、県選手権の場で代表として試合をすることで、現段階から国体に向けての意識付けを図ることを目的として紅白試合を実施しています。

・ 県外優秀指導者招聘による講習会



上記講習会が、1月20日(日)に鹿児島南署警察武道館で開催されました。

これは、2020年第75回国民体育大会の開催に向けて、県外から優秀な指導者を招聘して、選手強化を図る目的で、県内柔道指導者・強化委員・一般および高校生・中学生を対象に実施しました。2回目になる今回は、

全柔連強化委員で、日本体育大学体育学部武道学科教授で柔道部部長の山本洋祐先生指導していただきました。

始めに北会長から「しっかりと山本先生の講義を聞いていただき、また、競技力あるいは柔道技術についての指導法を学んで今後の大会に向けて役立ててもらいたい。」と挨拶がありました。

午前中は、「柔道をとおした人間力の形成」について、山本先生が中学時代に学んだ「一人になった時に行う努力が必要である。」ということや、高校の時には、先生がいなくても自分たちでメニューを考えながら練習をすることで自主性が養われたことなど、中学・高校時代のことが基になって、部員が200人近くいる日体大の柔道部でもつぶれずに続けられ、オリンピックにも出場できたということでした。このことから、自主的に努力することで、人間力が高められるということを感じ、と話されました。

午後は、寝技で仰向けの相手に対するの攻め方や立ち技での組み手の指導がありました。

参加した中高生は、熱心に受講していました。



・ 第10回九州中学校柔道

対県錬成大会 報告

古賀 雅弘

11月19日(土)・20日(日)

日本文理大学 武道場(大分市)

[男 子]

監 督：西 有生央(阿久根中学校教)

コーチ：古賀 陽佑(舞鶴中学校教)

50kg級 深川 涼(志布志)

55kg級 立石 倫大(南種子)

60kg級 堀添 恭哉(鹿屋東)

66kg級 有川 聖龍(立神)

73kg級 最勝寺健翔(舞鶴)  
 81kg級 東郷 丈児(清水)  
 90kg級 竹山 真平(長島)  
 90kg級 超級小島 大尚(川床)  
 ○団体戦績 3勝6敗(10チーム総当たり)  
 ○優秀選手賞 小島 大尚

[女子]

監督:古賀 雅弘(桜山中学校教)  
 コーチ:野村宗一郎(川内中央中学校教)  
 40kg級 垣内 望歌(谷山) 44kg級 城戸 鼓夢(谷山)  
 48kg級 中馬 優衣(吉野)  
 52kg級 木原幸優華(川内中央)  
 57kg級 前田 彩(伊集院)  
 63kg級 末吉 真子(吉野)  
 70kg級 芝原 和花(川辺)  
 70kg級 超級田中 美佐(川内中央)  
 ○団体戦績 1勝5敗(7チーム総当たり)  
 ○優秀選手賞 芝原 和花

～大会全体を通して～

- ・男子チームは、試合を重ねるにつれて声が出だし、チームワークが高まりました。
- ・女子チームは、試合と同じくらい食事にも苦戦。技術習得はもちろん、体作りも課題。(鹿児島の選手は小さい)
- ・最後まで投げきることのできる、力強い技の習得。(中途半端、潰れてしまうことが多かった。)
- ・前に出る、押し込む組み手。(直線的な組み手で相四つの時、釣り手を持たせてもらえない。釣り手側に回る。)
- ・体力(パワーや体幹など)不足による、組み負け、姿勢が悪くなる。(フィジカル面の強化)
- ・試合の入り方取れるとき取る。
- ・寝技の強化。(取る寝技)

・第71回国民体育大会柔道競技結果

いわて国体柔道競技は、10月8日(土)から10日(月)まで、久慈市民体育館で開催されました。本県からは成年男子が出場しましたが、1回戦で兵庫県に0-1で惜しくも敗れ、上位進出はなりませんでした。

・稽古納め

12月24日(土) 県柔道会館

平成28年の稽古納めが、24日(土)に県柔道会館で行われました。北哲郎会長の挨拶のあと、金子舞三段(鳳凰高校教)と安達莉穂三段(加世田高校教)による「柔の形」が披露され、最後に、北菌季康専務理事の指導で乱取りが行われ、鹿児島県警や中学・高校・大学生とその指導者ら60人が、熱気ある稽古で汗を流し一年間の稽古を締めくくりました。

・稽古始め

1月7日(土) 県柔道会館

平成29年の稽古始めが、7日(土)に県柔道会館において、総勢120人の参加を得て盛況裡に行われました。

始めに北哲郎会長から、「皆さんが一致協力して指導者はもちろんのこと選手全体が一丸となって鹿児島国体に向けて頑張っていたきたい。」との新年の挨拶がありました。

続いて、浦門征二五段(県警)と濱田敏徳五段(県警)による「講道館護身術の形」が披露されました。その後、北菌季康専務理事の指導で乱取り稽古に汗を流しました。

最後に、恒例の鏡開きがあり、参加者全員にぜんざいが振る舞われ、今年1年のやる気を新たにして稽古始めを終了した。

《 郷土選手の活躍 》

今年も本県出身の選手が、全国大会や国際大会で活躍し、上位入賞しました。選手の皆さん、おめでとうございます。

・全日本ジュニア柔道体重別選手権大会

9月10, 11日 埼玉県立武道館  
 ☆女子70kg級  
 青柳 麗美(環太平洋大学1年) 3位

・全日本学生柔道体重別選手権大会

10月1日, 2日 日本武道館  
 ☆女子70kg級  
 青柳 麗美(環太平洋大学1年) 3位

・講道館杯全日本体重別柔道選手権大会

11月12日, 13日 講道館  
 ☆女子48kg級  
 森崎 由理江(A-LINE) 準優勝

|   |   |
|---|---|
| <p>・<b>グランプリ・青島</b><br/>11月18日～20日 中国・青島<br/>☆女子78kg級<br/>高山 莉加(三井住友海上火災) 優勝</p> <p>・<b>グランドスラム東京</b><br/>12月2日～4日 東京体育館<br/>☆女子78kg級<br/>高山 莉加(三井住友海上火災) 3位</p> <p>・<b>ヨーロッパオープン</b><br/>2月4日, 5日 ブルガリア・ソフィア<br/>☆女子48kg級<br/>森崎由理江(鹿屋体大学柔友会) 優勝</p> <p>・<b>ヨーロッパオープン</b> 2月18日～19日<br/>オーストリア・オーバーヴァルト<br/>☆女子78kg超級<br/>稲森 奈見(三井住友海上火災) 2位<br/>☆女子78kg級<br/>濱田 尚里(自衛隊体育学校) 優勝</p> <p>・<b>グランプリ・デュッセルドルフ</b><br/>2月24日～26日 ドイツ<br/>☆女子78kg級<br/>高山 莉加(三井住友海上火災) 3位</p> <p>・<b>ベルギー国際大会</b><br/>2月24日～26日 ベルギー・アーロン<br/>☆女子70kg級<br/>青柳 麗美(環太平洋大学1年)<br/>21歳未満 優勝<br/>21歳以上 5位</p> | <p>2位 前山 昌哉(明桜館)<br/>◇66kg級<br/>1位 黒葛野奎介(鹿児島情報)<br/>2位 杉山 翔一(樟南第二)<br/>◇73kg級<br/>1位 宮永 梢汰(明桜館)<br/>2位 清水 楓摩(鹿児島水産)<br/>◇81kg級<br/>1位 青柳 大虎(鹿児島情報)<br/>2位 坂本 拳斗(鹿児島情報)<br/>◇90kg級<br/>1位 松本 司(鹿児島情報)<br/>2位 吉牟田悠斗(鹿児島情報)<br/>◇100kg級<br/>1位 藤川 遥輝(種子島中央)<br/>2位 芝田 裕幸(鹿児島情報)<br/>◇100kg超級<br/>1位 上林山勇斗(明桜館)<br/>2位 前山 倅希(鹿児島実業)</p> <p>◇<b>女子団体戦</b><br/>1位 国分中央高校<br/>2位 鹿児島南高校<br/>3位 鹿児島情報高校<br/>4位 鳳凰高校</p> <p>◇<b>女子個人戦</b><br/>◇48kg級<br/>1位 藤田 真由(国分中央)<br/>2位 西 李香(鹿児島情報)<br/>◇52kg級<br/>1位 小川 真未(鹿児島南)<br/>2位 小原 理生(鹿児島情報)<br/>◇57kg級<br/>1位 満重 ひな(国分中央)<br/>2位 浜崎 夏帆(種子島中央)</p> |
| <p>《各種大会の成績(10月～3月)》</p>  |   |
| <p>・<b>県下高等学校新人柔道大会</b><br/>10月27日(木)・28(金)<br/>鹿児島アリーナ</p> <p>◇<b>男子団体戦</b><br/>1位 明桜館高校<br/>2位 鹿児島情報高校<br/>3位 鹿児島実業高校<br/>4位 鹿児島商業高校</p> <p>◇<b>男子個人戦</b><br/>◇60kg級<br/>1位 武田 祐典(鹿児島情報)</p>  | <p>◇63kg級<br/>1位 藪田しお奈(鹿児島情報)<br/>2位 新村 歩夢(鹿児島工業)<br/>◇70kg級<br/>1位 野間 陽(鹿児島情報)<br/>2位 嶋田沙緒里(国分中央)<br/>◇78kg級<br/>1位 日高奈生子(種子島中央)<br/>2位 富永奈々美(国分中央)<br/>◇78kg超級<br/>1位 寺本みやび(鹿児島南)<br/>2位 宮原 優菜(鳳凰)</p>  |

・第5回 県中学校新人体重別柔道大会  
(ライオンズクラブ創立100周年記念事業)  
11月5日(土) 鹿児島アリーナ

- ◇男子個人戦◇50kg級
  - 1位 高目 大雅 (鹿屋東)
  - 2位 石堂 寛樹 (中種子)
- ◇55kg級
  - 1位 立石 倫大 (南種子)
  - 2位 岡元美乃合 (財部)
- ◇60kg級
  - 1位 吉元 翔摩 (財部)
  - 2位 宮田 大空 (天城)
- ◇66kg級
  - 1位 中村 來寿 (菱刈)
  - 2位 池田 海 (末吉)
- ◇73kg級
  - 1位 原口 翔伍 (西陵)
  - 2位 二宮 康樹 (吉野)
- ◇81kg級
  - 1位 最勝寺健翔 (舞鶴)
  - 2位 濱田耕太郎 (末吉)
- ◇90kg級
  - 1位 竹山 真平 (長島)
  - 2位 中山 玲温 (舞鶴)
- ◇90kg超級
  - 1位 小島 大尚 (川床)
  - 2位 小川 琢摩 (吉野)
- ◇女子個人戦
  - ◇40kg級
    - 1位 垣内 望歌 (谷山)
    - 2位 木下 小晴 (出水)
  - ◇44kg級
    - 1位 城戸 鼓夢 (谷山)
    - 2位 鳥越 璃子 (川辺)
  - ◇48kg級
    - 1位 中馬 優衣 (吉野)
    - 2位 浦崎 七海 (菱刈)
  - ◇52kg級
    - 1位 木原 優華 (川内中央)
    - 2位 溝口 葵月 (末吉)
  - ◇57kg級
    - 1位 前田 彩 (伊集院)
    - 2位 牧瀬 萌音 (中種子)
  - ◇63kg級
    - 1位 末吉 真子 (吉野)
    - 2位 宮原 里穂 (重富)

- ◇70kg級
  - 1位 芝原 和花 (川辺)
  - 2位 田中 美佐 (川内中央)
- ◇70kg超級
  - 1位 内倉亜依莉 (波野)
  - 2位 谷山 愛香 (伊敷)

第5回県中学校新人体重別柔道大会  
柔道MINDスピーチ(H28.11.5)  
鹿児島アリーナ武道場  
A-LINE所属 森崎由理江

現在私は、A-LINEに所属していますが、鹿屋体育大学で柔道を続けています。今日は、この柔道着を着ていた意味を皆さんに伝えたいと思います。

この柔道着は、私が2013年に講道館杯で優勝した時に着ていた柔道着です。この左胸のマークは、鹿屋体育大学のマークを卒業生用として変えて作ってもらいました。



また、右そでのマークも、すごく深い意味があって、桜島に帯をつけているものが描かれています。

その桜島の背景には大きな星があります。その星の頂点には小さな星マークがあるのですが、この意味としては鹿児島、薩摩から日本一になる、鹿児島からでも日本一になれるということを意味して作ってもらいました。

私が日本一になったのは、2013年の講道館杯だけです。それ以外は、高校生のインターハイは3位で、大学生の時も3位でした。なかなか1位になることは難しく、たった一回なんですが、すごくそれが心に刻まれています。この柔道着をすごく大切にしています。

そのあとも、いろいろ国際大会に選ばれて日本代表として出場したんですが、やはり世界の壁はまだ厚く、本当に努力しないと世界の頂点にはなれないと今でも思います。

来週また講道館杯があります。もちろん優勝を目指して頑張っていきたいと思います。そのあとグランドスラムという国際大会があるのですが、そこで結果を残して来年の世界選手権に出場できるように、鹿児島からでも世界一を目指すという自分のスローガンをも

|  |   |
|--|---|
| <p>とにみなさんの役に立てるような選手になりたいと思っています。</p> <p><b>・県下少年柔道大会</b><br/>1月6日(日) 鹿児島アリーナ</p> <p>1位 青雲クラブ柔道スポーツ少年団A<br/>(始良・伊佐) ※初優勝<br/>2位 三笠柔道スポーツ少年団<br/>(出水・阿久根)<br/>3位 里柔道スポーツ少年団(薩摩川内)<br/>3位 末吉柔道スポーツ少年団A(曾於)</p> <p><b>県下少年柔道大会 柔道 MIND スピーチ<br/>(H28.11.6)<br/>光武館 館長 内村純博</b></p> <p>2020年, 東京オリンピックがあります。その年に鹿児島県では, 国民体育大会が行われます。</p> <p>国体は, 通常の学校対学校, 職場対職場, 道場対道場という垣根を越えて, オール鹿児島として他県と戦う試合です。</p> <p>私自身, 3回の国体出場でいつもの全国大会とは違う, 貴重な試合をさせていただいた経験があります。その国体に向け, 現在, 鹿児島県柔道会では少学生から一般まで一丸となって, 強化に取り組んでいます。その時代に, 柔道ができる事を君たちはチャンスと思い, 日々の練習に励んでください。</p> <p>1964年, 昭和39年に第一回東京オリンピックが行われ, 無差別級決勝戦において, 日本の神永選手がオランダのヘーシンク選手に, 袈裟固で一本負けをしました。その時に, 喜んだオランダ関係者が豊に上がろうとしたのを, ヘーシンク選手が止めたという有名な話があります。そのヘーシンク選手と前回の世界選手権において, 鹿児島県警の吉松先生が準決勝で払腰の一本勝ちをしています。吉松先生は全日本選手権においても二連覇達成という偉大な柔道家です。そのような方が鹿児島県におられたことを覚えておいてください。嘉納治五郎先生が, 柔道の創設にあたり, 精力善用・自他共栄という原理・目的を掲げられました。その中の自他共栄について勉強しましょう。</p> <p>(子供たちの小内刈の打込・投込の実技)<br/>人と人がお互いに協力しながら, 技のスピード, タイミング, 崩し, 姿勢など確認して</p> | <p>小内刈の上達を目指すことも, ひとつの自他共栄の精神です。これは柔道にとどまらず, 日々の生活においても大切なことです。嘉納先生は国と国もお互いに助け合い, 協力し合い, より良い世界の平和を築きましようとする大きな目的の下に柔道を創設されました。</p> <p>では, 全国小学校学年別選手権に出場した人, この人たちは, 自分一人で優勝できたでしょうか? 家族・道場の先生・生徒, そして試合で戦った選手, また審判員の先生方, 記録やタイマーの補助員係りの先輩方などすべての人々の協力があり, 優勝できたことを決して忘れないでください。</p> <p>そのことを考え, 試合前の始めの礼では, 「今日は正々堂々, 力いっぱい戦いましょう。」と相手を敬い, 試合後の終わりの礼では, 「今日は精いっぱい戦うことができました。おかげでいい経験をさせてもらいました。」という感謝の気持ちを忘れずに本日の試合でも精力善用・自他共栄の精神に則り, 武道の美しさを伝えてください。最後に精力善用の意味を調べることを宿題として終わります。</p> <p><b>・九州高校新人柔道大会</b><br/>1月19日・20日 九電体育館(福岡市)</p> <p><b>◇男子個人戦</b></p> <p>◇66kg<br/>黒葛野圭介(鹿児島情報) 3位<br/>◇73kg<br/>宮永 梢汰(明桜館) 準優勝<br/>◇81kg<br/>青柳 大虎(鹿児島情報) 優勝</p> <p><b>◇女子個人戦</b></p> <p>◇48kg<br/>西 李香(鹿児島情報) 3位<br/>◇52kg<br/>小川 真未(鹿児島南) 準優勝<br/>◇70kg<br/>野間 陽(鹿児島情報) 優勝</p> <p><b>・第27回鹿児島県柔道選手権大会<br/>第19回鹿児島県女子柔道選手権大会</b><br/>1月14日(土) 鹿児島アリーナ武道場</p> |
|--|---|

**【男子成績】**  
 1位 内 健治郎(県警察) 五連覇  
 2位 関根 太三(鹿屋体育大)  
 3位 矢<sup>ハ</sup> 晃生(県警察)  
 3位 山田 泰裕(県警察)  
 5位 飛松 直樹(鹿屋体育大)

**【女子成績】**  
 1位 堀 歩未(鹿屋体育大) 二回目  
 2位 栗原 佑佳(鹿屋体育大)  
 3位 牧田 朱加(鹿屋体育大)

3月5日(日)開催の第59回九州柔道選手権大会及び第27回九州女子柔道選手権大会に、男子3位、女子2位までが出場します。

**第27回鹿児島県柔道選手権大会  
 第19回鹿児島県女子柔道選手権大会  
 柔道MINDスピーチ(H29.1.14)  
 鹿児島アリーナ鹿児島県中学校体育連盟  
 柔道専門部長 古賀雅弘  
 『中学校柔道に携わって』**

柔道を指導するに当たって心がけていることをお話したいと思います。

ここにいる皆さんは鹿児島県を代表する素晴らしい柔道選手だと思いますが、もう一度柔道を始めた原点に戻ってみてください。きっかけはいろいろあったと思いますが、あなたが柔道を始めたのはいつでしたか?

ここにいる人だけでもスタートはさまざまだと思います。私は小学3年生の時、近くの警察道場で柔道を始めました。中学校・高校・大学と柔道を続け、教員として中学生を指導するようになり、30年が過ぎました。

これまで、柔道以外にも相撲・野球・ラグビー・ゴルフ・マラソンといろいろな競技にも挑戦してきました。別の競技を経験したことで、改めて柔道の良さがわかったことがあります。

柔道は1対1で競うスポーツであり、柔道衣を着用し、相手を投げたり、抑えたりします。柔道を学ぶことによって、技術面では技の理合い、受け身の仕方や必要性、精神面では相手がいるから技術が発揮できた、相手をかばいながら制するという気持ちを持たせることも必要になります。

柔道は「礼」に始まり「礼」に終わると言われています。こうした活動の中で、お互い

の交友関係が高まり、「礼」を重んじ、礼儀正しいフェアプレーの精神に繋がっていくと思います。

『人間だもの』で有名な詩人の相田みつをさんの詩に「受け身」という詩があります。

**柔道の基本は受け身  
 受け身とはころぶ練習まける練習  
 人の前にぶざまに恥をさらす稽古**  
 そして、こう続きます。  
**受け身が身につけば達人  
 負けることの尊さがわかるから**

お互いに投げ、投げられることで「人の痛み」を共感でき、「思いやりの心」が育ち、厳しい練習の中から、忍耐強さ、勇気なども養われます。また、受け身が身に付くことで日常のけが防止にも大きく役立ちます。

そして、柔道を行うことによって、お互いに協力し、助け合い、譲り合い、それによって自他共に向上することが社会の発展に役立っていきます。

この他にも柔道の良さはたくさんあります。この会場にいる一人一人が柔道の魅力を広めていくことによって、柔道人口が増え、基盤が拡大することによって、柔道がたくさんの人達に親んでもらえるとともに、競技力向上も上がっていくと思われま。

**“燃ゆる感動 鹿児島国体 2020”**を目指し、みんなで気持ちを一つに頑張っていきましょう。

今日の大会では、試合の前の「礼」で気持ちをしっかり整え、日頃の練習を活かし、一本を目指した迫力ある技の攻防、試合後にはお互いの健闘をたたえ、相手を尊重し、感謝の念を大切にしたいものです。それが見ている人たちに大きな感動を与えることに繋がると思います。審判として見守るとともに期待しています。頑張ってください。

**・鹿綜警杯 第56回  
 県下高等学校柔道選手権大会**  
 1月15日(日)鹿児島アリーナ

**◇男子団体戦**  
 1位 鹿児島情報高校(2年連続5回目)  
 2位 明桜館高校  
 3位 鹿児島商業高校  
 3位 鹿児島実業高校

|   |   |
|---|---|
| <p>◇女子団体戦</p> <p>1位 鹿児島南高校 (2年連続8回目)</p> <p>2位 国分中央高校</p> <p>3位 鹿児島情報高校</p> <p>3位 鳳凰高校</p> <p>◇男子個人</p> <p>◇60kg級</p> <p>1位 武田 祐典 (鹿児島情報)</p> <p>2位 徳田 武隼 (鹿児島情報)</p> <p>◇66kg級</p> <p>1位 植村 陸斗 (鹿児島実業)</p> <p>2位 黒葛野奎介 (鹿児島情報)</p> <p>◇73kg級</p> <p>1位 宮永 梢汰 (明桜館)</p> <p>2位 蜂須賀 学 (鹿屋工業)</p> <p>◇81kg級</p> <p>1位 青柳 大虎 (鹿児島情報)</p> <p>2位 坂本 拳斗 (鹿児島情報)</p> <p>◇無差別級</p> <p>1位 上林山勇斗 (明桜館)</p> <p>2位 松本 司 (鹿児島情報)</p> <p>◇女子個人戦</p> <p>◇48kg級</p> <p>1位 藤田 真由 (国分中央)</p> <p>2位 西 李香 (鹿児島情報)</p> <p>◇52kg級</p> <p>1位 小川 真未 (鹿児島南)</p> <p>2位 小原 理生 (鹿児島情報)</p> <p>◇57kg級</p> <p>1位 清水 美穂 (鹿児島南)</p> <p>2位 満重 ひな (国分中央)</p> <p>◇63kg級</p> <p>1位 松下 夏七 (鹿児島情報)</p> <p>2位 藪田しお菜 (鹿児島情報)</p> <p>◇無差別級</p> <p>1位 嶋田沙緒里 (国分中央)</p> <p>2位 野間 陽 (鹿児島情報)</p> <p><b>第57回県下高等学校選手権大会</b><br/> <b>柔道MINDスピーチ(H29.1.15)</b><br/> <b>鹿児島アリーナ</b><br/> <b>ラ・サール高校2年 西島 廉太郎</b><br/>                 皆さんは、ラサール学園がどのようにしてできたかご承知でしょうか。おそらく知っている方は少ないと思います。ラサール学園はフランスの聖職者ジャン・パディスト・ド・</p> | <p>ラーサールが設立したラサール会と呼ばれるカトリック修道会を母体に昭和24年に開校されました。ラサールは裕福な貴族の家に生まれたのにも関わらず、貧しい人々に対して積極的に教育を施された素晴らしい精神の持ち主でした。</p> <p>そんなラサールの教えを基にした3つの信条を私たちの学園では大切にしています。</p> <p>1つ目は隣人愛の精神。隣人愛というのは新訳聖書の言葉で、他者を敬愛し、必要があれば積極的に援助をするということです。</p> <p>2つ目はファミリースピリットの精神。現在ラサール会は世界中に広がり、様々な国に学校を設立してきましたが、私達はそうした学校ともラサールの名の下に皆家族であり、教育を通して互いに研鑽し合い、助け合いながら目的へと進むということです。</p> <p>3つ目はベスト・アマンダ・ザ・ベストの精神、何事にも最善の中の最善を尽くすということです。</p> <p>私たちは、その学園の柔道部員として、文武両道の精神で日々、稽古に励んでいます。</p> <p>さて、この3つの信条ですが、私はあることに気が付きました。それは嘉納治五郎先生が提唱された「精力善用・自他共栄」という理念と多くの共通点が見られるということです。柔道によって得られた力を世の為人の為に用い、自分と他人共に豊かに暮らしていくという考えは、まさしく教育によって世の中に貢献できる人材を育てようというラサールの考えと共通していると思います。</p> <p>しかし、何故母国も生きた時代も異なるお二人の先生方の考え方に共通したのがあると考えられるのでしょうか。私はそこに二つの理由があると思いました。</p> <p>一つはお二人とも優れた教育者として、教育の重要性と人間形成という教育の最終目標へと至るプロセスを理解されていたからだと思います。ラサールはキリスト教を、嘉納先生は柔道を通して教育の真髄を捉えておられたのです。</p> <p>もう一つは、二つの士道、武士道と騎士道の存在です。この二つは共に主君に対して忠誠を誓うと同時に武士として、騎士としてあるべき姿についての哲学として日本、西洋にそれぞれ根付いて来ました。現在日本柔道会で推奨され、柔道家が守るべきものとしてあげられている「柔道MIND(礼節、自立、</p> |
|---|---|



高潔、品格)」がまさにそのあるべき姿であると思います。

このように生まれも育ちも、時代も異なりながらも一致したお二人の考えは、現代に生きる私たちも受け継ぐべき、大切なことであると思います。これからは私は嘉納治五郎先生の「精力善用・自他共栄」の精神とラサールの「スピリット」を胸に、皆さんと柔道を通して、共に歩んで生きていきたいと思います。

・第34回県下少年新人柔道大会

2月18日(土) 鹿児島アリーナ武道場

- 1位 柔心館道場 (曾於)
- 2位 末吉道場(ツツ鞆) (曾於)
- 3位 かわなべ道場(ツツ鞆) (南薩・指宿)
- 3位 坊津学園道場(ツツ鞆) (南薩・指宿)

・第41回県下中学校新人柔道大会

2月19日(日) 鹿児島アリーナ武道場

◇男子団体戦

- 1位 末吉中学校
- 2位 舞鶴中学校
- 3位 吉野中学校
- 3位 中種子中学校

◇男子個人戦

- 1位 川村 虎白 (米ノ津)
- 2位 小島 大尚 (川床)

◇女子個人戦

◇40kg級

- 1位 垣内 望歌 (谷山)
- 2位 木下 小晴 (出水)

◇44kg級

- 1位 城戸 鼓夢 (谷山)
- 2位 鳥越 璃子 (川辺)

◇48kg級

- 1位 中馬 優衣 (吉野)
- 2位 今別府未来 (川内中央)

◇52kg級

- 1位 木原幸優華 (川内中央)
- 2位 溝口 葵月 (末吉)

◇57kg級

- 1位 牧瀬 萌音 (中種子)
- 2位 税所 美羽 (加治木)

◇63kg級

- 1位 宮原 里穂 (重富)
- 2位 末吉 真子 (吉野)

◇70kg級

- 1位 芝原 和花 (川辺)
- 2位 田中 美佐 (川内中央)

◇70kg超級

- 1位 内倉亜依莉 (波野)
- 2位 川ノ上ひかる (枕崎)

第41回県下中学校新人柔道大会

柔道MINDスピーチ(H29.2.18)

吉野中学校3年 橋口佳尚


『柔道と出会って』

僕が柔道と出会ったのは、小学校5年生の時でした。小学校6年生の時に、日々、練習を積み上げる中で、県3位という上位の成績をいただくなど、この頃から柔道の世界におもしろさを感じるようになりました。

周りの人の勧めがきっかけで柔道を始めたあの日から、五年の月目が流れました。今では、「柔道」は、僕にとって「生活の一部」であり、なくてはならない「大切な存在」です。特に中学校3年間の、僕にとってのまさに「柔道人生」は、自分を成長させてくれた、かけがえのないものとなりました。この3年間、柔道が僕に教えてくれたものは、「感謝する心」と「目標を立てる大切さ」です。

「道場」で練習できることへの感謝や周りの方々への「ありがとう」の気持ちを忘れずに日常生活を送り練習に励むことで、より技が磨かれることを学ぶと同時に、大きな目標達成のためには、基本に立ち返り、「足技」を徹底して練習するなど、小さなことの積み上げを大切にすることで達成感を得られ、「柔道を深く楽しむことができる」ということを体得することができました。そのことを僕の心に深く刻みつけることとなった試合が、昨年夏に出場した九州大会です。準決勝で延長戦まで持ち込んだものの、優勝の壁を超えることができず、悔しさを味わいました。しかし、一方では、「勝つ」という目標を持ち続け、日夜練習に打ち込み、結果を出すことへの達成感も味わうことができました。

多くの試合を通して学ぶことが多く、ますます柔道の魅力を感じています。柔道の魅力は一番に、階級を超えて多くの人と対戦できるところにあると僕は思います。これから先

|  |             |       |               |       |             |       |             |       |  |              |       |               |       |
|--|-------------|-------|---------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|--|--------------|-------|---------------|-------|
|  <p>も柔道を通して、どれだけ多くの人との「出会い」が待っているのかと思うと、今から楽しみでしかたありません。柔道を通して、人との「出会い」や絆をさらに大切にしていきたいと思っています。</p> <p>高校進学後は、1年生から個人戦「優勝」の目標を掲げ、3年生では、「鹿児島インターハイ優勝」の夢の実現に向け、より練習に励んでいく覚悟です。</p> <p>「負けられない戦いがそこにある」の言葉を胸に、一戦一戦の試合に全力で臨み、柔道を通して、より自分の人生を充実させていきたいと強く思っています。</p> <p>・第59回九州柔道選手権大会<br/>3月5日(日)福岡武道館</p> <p>【男子成績】</p> <table border="0"> <tr> <td>内 健治郎 (県警察)</td> <td>3回戦敗退</td> </tr> <tr> <td>関根 太三 (鹿屋体育大)</td> <td>4回戦敗退</td> </tr> <tr> <td>矢^ 晃生 (県警察)</td> <td>1回戦敗退</td> </tr> <tr> <td>山田 泰裕 (県警察)</td> <td>2回戦敗退</td> </tr> </table> | 内 健治郎 (県警察) | 3回戦敗退 | 関根 太三 (鹿屋体育大) | 4回戦敗退 | 矢^ 晃生 (県警察) | 1回戦敗退 | 山田 泰裕 (県警察) | 2回戦敗退 | <p>【女子成績】</p> <table border="0"> <tr> <td>堀 歩未 (鹿屋体育大)</td> <td>4回戦敗退</td> </tr> <tr> <td>栗原 佑佳 (鹿屋体育大)</td> <td>3回戦敗退</td> </tr> </table> <p>《主な行事予定(4月~5月)》</p> <p>5月13日(土) 県柔道会評議員会<br/>5月17日(水)・18日(木)<br/>県柔道指導者講習会<br/>(県総合体育センター武道館)</p> <p>【編集後記】</p> <p>3年後に迫った2020年「燃ゆる感動かごしま国体」の成功に向けた、県柔道会のおもな取り組みを紹介しましたが、シード権などの関係で前年、また前々年の試合結果が重要となってきます。会長の年頭所感でもありますように、「オール鹿児島」で望まなければならないところです。</p> <p>皆様方のご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、紙面の関係で「道場めぐり」はお休みしました。</p> <p>(文責：田島)</p> | 堀 歩未 (鹿屋体育大) | 4回戦敗退 | 栗原 佑佳 (鹿屋体育大) | 3回戦敗退 |
| 内 健治郎 (県警察)  | 3回戦敗退       |       |               |       |             |       |             |       |  |              |       |               |       |
| 関根 太三 (鹿屋体育大)  | 4回戦敗退       |       |               |       |             |       |             |       |  |              |       |               |       |
| 矢^ 晃生 (県警察)  | 1回戦敗退       |       |               |       |             |       |             |       |  |              |       |               |       |
| 山田 泰裕 (県警察)  | 2回戦敗退       |       |               |       |             |       |             |       |  |              |       |               |       |
| 堀 歩未 (鹿屋体育大)   | 4回戦敗退       |       |               |       |             |       |             |       |  |              |       |               |       |
| 栗原 佑佳 (鹿屋体育大)  | 3回戦敗退       |       |               |       |             |       |             |       |  |              |       |               |       |



# 燃ゆる感動 かごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020